

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試 (前期日程) : 筆記試験 (教職教養))

問	題	用	紙
---	---	---	---

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章は、『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』（文部科学省初等中等教育局教育課程課 令和3年3月版）の一節である。空欄（①）～（④）に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

児童生徒の資質・能力育成のため、各教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、（①）を活用した新たな教材や学習活動等も積極的に取り入れつつ、それにより実現される新しい学習活動について、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実に効果を上げているか確認しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた（②）につなげていくことが期待されます。このことを通じて学習指導要領前文に記載されている「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや（③）を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の（④）となることができるよう」に育成していくことが求められています。

問2. 以下の文章の空欄（①）～（④）に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

- (1) 江戸時代前期から中期の儒学者・本草学者である（①）には、『大疑録』『養生訓』『大和本草』など、儒学・医学・博物・教育に関する多くの著作がある。とりわけ教育においては、体系的な教育書である『（②）』を著し、随年教法を説いた。
- (2) 次に示すのは、いじめ防止対策推進法第二十三条の条文である。
学校は、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の（③）、身体又は（④）に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

問3. 以下の文章の（1）～（4）について、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- (1) ADHDのペアレントトレーニングについての説明のうち、もっとも正しいものをア～オより一つ選びなさい。
- ア ADHDのお子さんが、不適切な行動を起こした時にタイムアウトを使うと有効なので、その使い方を練習するトレーニングである。
- イ ADHDのお子さんに対し、肯定的注目を使うことから始めるトレーニングである。
- ウ ADHDのお子さんは、望ましくない行動を起こしやすいため、どのように注意・警告をしていけばいいかを学ぶトレーニングである。
- エ ADHDのお子さんに対し、どのように愛情をかければいいかを親が学ぶトレーニングである。
- オ ADHDのお子さんをもった親は、躰を上手にする必要があるため、親が厳しい躰ができるようにするトレーニングである。

(2) 次の文章の (①) ~ (⑤) に当てはまる語句を、次の語群から選び、正しい組み合わせのものをア~オより一つ選びなさい。

精神分析学を創設した (①) は、人間の深層心理として、本人でも容易に自覚することができない (②) の領域を発見し、その内容を意識化することによって精神病理を治癒しようと考えた。また、(②) にある性的エネルギーをリビドーとよんで重視し、それが充足されたかどうかということを性格形成と関連付けた独自の (③) 説を唱えている。

精神分析学は多くの弟子によって多様な発展をみせているが、特に生涯発達の観点から青年心理学に大きな影響を与えたのは (④) であり、(⑤) の確立が重視されていることは広く知られている。

【語群】

- a ユング b 無意識 c 意識 d アイデンティティ e 発達段階
f アドラー g エリクソン h フロイト i 補償

	①	②	③	④	⑤
ア	a	c	i	g	e
イ	a	c	i	f	e
ウ	h	b	i	g	d
エ	h	b	e	f	d
オ	h	b	e	g	d

(3) 次の学習方略とその説明の組み合わせで、すべて正しいものをア~オより一つ選びなさい。

- [学習方略] ① 精緻化方略 ② リハーサル方略 ③ 理解監視方略
④ 外的リソース活用方略 ⑤ 体制化方略

- [説明]
a ミスがないか、見直しをする
b ノートに書いたり、マーカーを引いたりする
c 要約したり、言い換えたり、質問したりする
d カテゴリーに分けたり、階層化したりする
e 先生や友達に聞いたり、インターネットで調べたりする

	①	②	③	④	⑤
ア	b	d	a	e	c
イ	a	c	e	b	d
ウ	d	e	a	c	b
エ	c	b	a	e	d
オ	a	b	d	c	e

(4) 次の文章の (①) ~ (⑥) に当てはまる語句を、下の語群から選び、正しい組み合わせのものをア～オより一つ選びなさい。

集団をその成立の仕方でも分類したとき、家族や遊び仲間のような自然発生的な集団のことを (①) 集団という。一方、学校や会社、組合などの利害関係や目標に基づいて意識的に作られた集団のことを (②) 集団と呼んでいる。このような分類を提唱したのは、(③) である。特に、(①) な人間関係が生産性や精神衛生に影響を及ぼすような現象を (④) 効果という。

また、クーリーらは、成員の相互作用のあり方から、集団を分類する方法を提唱した。それによると、集団は、(⑤) 集団と (⑥) 集団に分類できる。(⑤) 集団とは、家族や遊び仲間などを指しており、成員が直接的な相互作用を行う。一方 (⑥) 集団とは、学校、政党など相互作用が間接的になされる集団をいう。

【語群】

- a モレノ b メイヨー c ホーソン d 準拠 e インフォーマル
f フォーマル g 一次的 h 二次的

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	f	e	c	b	g	h
イ	e	f	c	a	g	h
ウ	e	f	b	c	g	h
エ	e	f	b	a	h	g
オ	f	e	a	b	h	g

問4. 以下の (A) ~ (D) のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

領域 (A) (教育原理)

- 全国的な学力調査
- 指導と評価の一体化

領域 (B) (教育史)

- 森有礼
- 師範学校

領域 (C) (教育法規)

- 学習権
- 安全配慮義務

領域 (D) (教育心理)

- ポートフォリオ評価
- メラビアンの法則